

- 文化財防火デーin 旧見付学校 P1~2
- 『磐田市文化財保存活用地域計画』を
作成しています P3
- WEBで文化財だよりを楽しもう! P4
- コラム『お城巡り』鈴木伸明 P4

文化財防火デー in 旧見付学校



放水銃と水幕ホースによる放水

1月26日の「文化財防火デー」にあわせ、1月24日に旧見付学校で消防訓練をおこないました。当日の訓練の様子を紹介します。

旧見付学校は、明治8年に建てられた現存する日本最古の木造擬洋風小学校で、国の史跡に指定されています。

文化財防火デーとは

文化財防火デーは、現存する世界最古の木造建造物である法隆寺（奈良県）の金堂が、昭和24年1月26日に火災にあったことがきっかけで制定されました。昭和30年の第1回以来、文化庁、消防庁をはじめ県や市町村、消防署、地域の方々が協力し、全国で文化財防火運動が展開されています。

磐田市文化財課でも毎年、消防署、地元の方々と共に消防訓練をおこなっています。

訓練の様子

当日は、旧見付学校周辺で火災が発生し、延焼の恐れがあるとの想定のもと、訓練をおこないました。

119番通報、見学者の避難誘導、消防の現場指揮本部への現状の報告、旧見付学校に設置している放水銃、ポンプ車、水幕ホースによる放水訓練を実施しました。

火災の通報から一連の行動を、消防職員の指導のもと実際に体験しながら確認したことで、より理解が深まりました。

今年は例年と異なり、感染症対策をした上で、規模を縮小しての開催となりましたが無事に訓練を終えることが出来ました。



119番への通報



現場指揮本部に報告



はしご車からの放水



放水銃の使用方法確認

火災から文化財を守る備え

旧見付学校では、訓練で使用した放水銃に加え、館内に火災報知器、消火器、消火栓を設置しています。

これらは定期的に点検をおこない、いざという場面で通報・初期消火が出来るように備えています。

今後も、今回の訓練の経験を活かすと共に、火災への対策を取り、地域の宝である文化財を守り続けていきます。



館内に設置された消火栓と消火器

旧見付学校 入館無料

■開館時間 午前9時～午後4時30分 ■休館日 毎週月曜日・祝日の翌日・年末年始

■住所 磐田市見付 2452 ■電話・FAX 0538-32-4511

市民が誇れる自然と歴史・文化のまちを目指して

『磐田市文化財保存活用地域計画』を作成しています

『磐田市文化財保存活用地域計画』とは

文化財保存活用地域計画とは、文化財保護法の改正（平成31年4月1日施行）により、文化庁の方針に基づき、地域における文化財の保存・活用の将来像や取り組みの方針などをまとめたものです。

磐田市には、国分寺跡や大型古墳、旧見付学校などをはじめとした数多くの文化財があります。みなさんの身近にも、磐田の歴史文化を伝える地域の宝ともいえる文化財があるのではないのでしょうか。

少子高齢化や過疎化など、文化財をとりまく環境の変化に伴って、保存や継承がされずに無くなってしまふ文化財もあります。それは、磐田市にとって大きな損失となりかねません。

そこで市では、周知の文化財は勿論のこと、まだ知られていないみなさんの身近にある地域の宝（文化財）を掘り起こし、知ってもらい、イベントなどで活用することにより、地域を盛り上げ、楽しみながら文化財を保存継承していきたいと考えています。

そのために、行政だけではなく市民のみなさんが文化財を大切にする気持ちを育み未来に伝えていこうとするための、具体的な事業計画を記載した『磐田市文化財保存活用地域計画』を作成し、令和3年度中の文化庁の認定を目指しています。

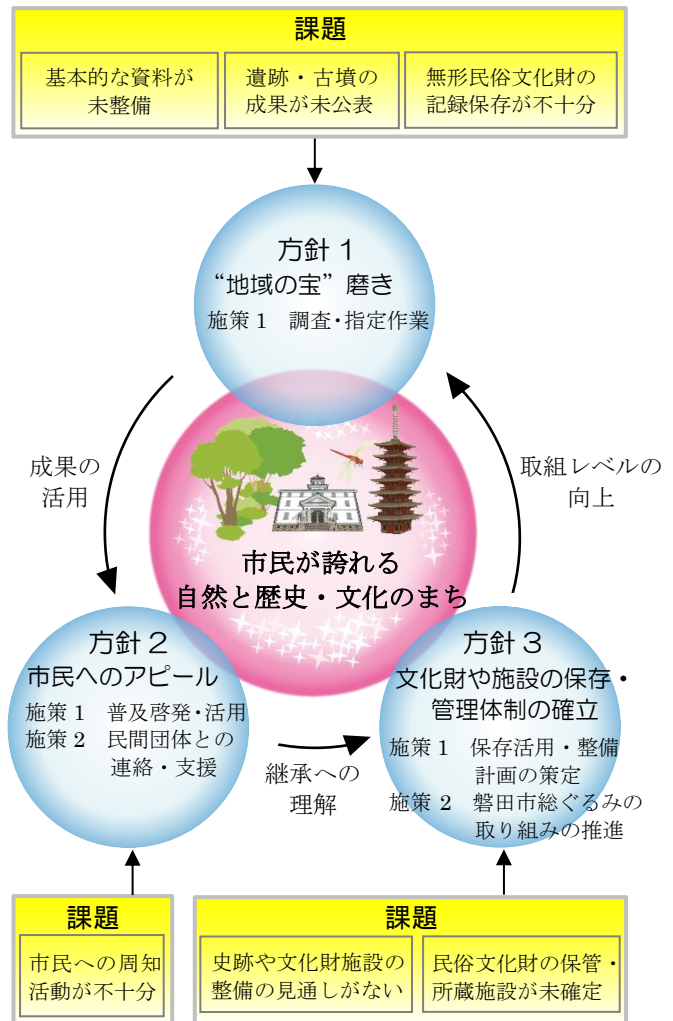
計画の内容について

計画では、①“地域の宝”磨き、②市民へのアピール、③文化財や施設の保存・管理体制の確立の3つの方針を示しています。それぞれの方針ごとに施策をまとめました。

文化財活用の取り組みは、現在、市が主体となっている事業が多いですが、この計画の期間満了時の9年後までには、民間団体や市民が主体となる事業が増えていくような体制を目指します。市民のみなさんの力で、磐田市を盛り上げていきましょう！



文化財活用の一例（旧見付学校での授業体験）



磐田市地域計画関係図

磐田市ホームページで公開中

WEBで文化財だよりを楽しもう！

パソコンやタブレット、スマートフォンなどから閲覧できます！



ご自宅でいわた文化財だよりを楽しんでみませんか。市ホームページでは、最新号のほかバックナンバーも公開しています。バックナンバーの閲覧方法と、これまでに発行した文化財だよりの中から今月のお勧めをご紹介します！

● 閲覧方法 ●

磐田市ホームページトップページ内のページ番号検索に1007901を入力後、いわた文化財だよりのバックナンバーの一覧から閲覧したい号数をダブルクリックしてください。

● 今月のお勧め ●

平成25年度から2年間にわたり、本殿の全解体、修理工事がおこなわれた市指定文化財の淡海国玉神社。その修復の様子をおった第106、115、122号をお勧めします！非公開の御神座（本殿内部）の写真も掲載していますので、ぜひお読みください。



職員リレー コラム

お城巡り

鈴木 伸明

昨年4月の人事異動で文化財課の所属になりました。

この異動は、元々歴史や文化財に不勉強な私にとって、想定外のことでした。仕事をしながら、磐田市は近隣の市町の中でも重要な古墳や遺跡などの文化財が多い市だと知って驚きました。また、文化財の名称など読めない漢字が多くて困りました。（「土器塚古墳」「かわらけづかこふん」など。）

しかし、そんな歴史に不勉強な私でも一つだけ歴史に係る趣味があります。それは「お城巡り」です。きっかけは友人家族と旅行に行き、大阪城を訪れた際、友人の息子（小学生）が「日本100名城に行こう」というスタンプ帳が付いた本を持っているのを見たことでした。それ以来スタンプを集めるのを目的に、家族や職場、自治会の旅行に行く際に幹事をお願いして、お城を行程に加えてもらいお城を巡っています。

成果としては、後で購入した「続日本100名城」と合わせて200城中14城のスタンプを集めました。途中からは登城記念の御城印も買うようになり現在8枚持っています。

人事異動前の2月に行った姫路城を最後に、新型コロナウイルス感染症の影響で行けていないですが、終息後は文化財としての価値や歴史の背景に興味を持ちながらお城巡りをしたいと思います。

最後に、次回コラムを書く機会があれば、今度は磐田市の文化財を…まずはお城繋がりです社山城か、それとも古墳か遺跡か。紹介できるように引き続き勉強します。

埋蔵文化財センターで配布中！磐田市立図書館電子書籍サービスでも閲覧できます。



社山城パンフレット

編集後記 今年も無事に消防訓練をおえることが出来ました。ご協力いただきました皆様に改めてお礼申し上げます。マッシー本火事のもと、みんなで守ろう文化財！

発行：磐田市教育委員会事務局教育部
文化財課(磐田市埋蔵文化財センター)
住所：〒438-0086 磐田市見付 3678-1
電話：0538-32-9699
◆WEB版は市HPから閲覧できます。 **磐田市 文化財だより** **検索**

